

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.279

平成30年(2018年)
8月1日発行



第67回金沢百万石まつりの様子

左上：担ぎ桶太鼓 右上：入城祝祭 左下：加賀鳶によるまとい総ぶり 右下：音楽パレード

目次

- ・6月定例会議会の概要等…………… P.2
- ・本会議の発言から…………… P.3～P.12
- ・常任委員会の活動状況…………… P.12～P.13
- ・特別委員会の活動状況、審議結果
…………… P.14～P.15
- ・意見交換会について、議会日誌等…………… P.16

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

平成30年度 金沢市議会 6月定例会月議会の概要

平成30年度金沢市議会6月定例会月議会が、6月11日から25日までの15日間開催されました。

6月11日 議案上程・提案理由説明

初日11日には、在職20年の議員3名の表彰が行われました。その後、山野市長から、国庫補助金の増額決定に伴う公共事業費など地域経済の活性化に資する経費や安全・安心の確保に係る経費の追加を主な内容とする総額48億9,907万5,000円の補正予算案のほか、金石地区の旧町名復活に係る「町の名称の変更に伴う関係条例の整理に関する条例」案など議案18件、報告1件が提案され、市政の概況とともに提出議案の説明が行われました。

この中で市長は、「中心商業地の活性化を目指し、体験・滞在型店舗の出店に対する支援制度を創設することとしたほか、金沢美術工芸大学の移転整備に係る用地取得費を計上する」と述べました。

表彰を受けた永年(20年)在職議員

福田 太郎、横越 徹、田中 展郎

6月19日～21日 質疑・一般質問

19日から21日までの3日にわたる本会議では、18人の議員が質疑や一般質問を行いました。

6月22日 委員会審査

22日には、5つの常任委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

6月25日 討論・採決

最終日の25日には、討論・採決が行われ、この日までに追加された補正予算や人事案件を含め、市長提案の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決、同意、承認または諮問のとおり答申されました。議員提出の議会議案6件は3件が可決、3件が否決され、請願1件は不採択となりました。また、黒沢和規議長の辞職に伴い、議長選挙が行われ、新たに清水邦彦議長が選出されました。その後、石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、清水邦彦議長が選出されました。

◎議長選挙の結果

清水 邦彦 26票 松村 理治 7票
森尾 嘉昭 3票

議長就任あいさつ



これからの変わりゆく時代にしっかりと適応した議会をつくるため、議会の運営が円滑に行われるよう、全力を挙げていく所存です。

(第89代議長 清水 邦彦)

市長の施政方針(要旨)

◇スポーツ文化の取り組み

スポーツ文化推進条例の具現化の一環として、事業者、経済団体等とともにスポーツ文化推進協議会を立ち上げ、スポーツ人材の育成等に係る各種事業を積極的に展開するほか、7月に金沢文化スポーツコミッションを開設し、東京オリンピック等の事前合宿等の誘致活動を本格化していく。

◇民泊と宿泊税

住宅宿泊事業法の6月15日施行を受けて、違法民泊の取り締まりやパトロールを強化するなど民泊の適正運営に努める。宿泊税については、国の同意を待ち、特別徴収義務者となる宿泊事業者への説明や充当事業に係る議論を本格化していく。

◇地球環境の保全

指定ごみ袋による家庭ごみ収集制度の導入成果を踏まえた次期ごみ処理基本計画の策定に向けた、ごみ処理施設の規模適正化などの検討により、将来世代における環境負荷と財政負担の低減につなげるほ

か、8月からの雑誌回収促進袋の全家庭への配布のための準備を進め、さらなるごみの減量化、資源化を目指す。

◇学校規模の適正化

新竪町小学校と菊川町小学校、犀川小学校と東浅川小学校の統合に係る協議がまとまり、市と各校下との間で正式な同意書が交わされたので、それぞれの小学校の明年4月の統合に必要な暫定校舎の整備や既存校舎の改修等を行いたい。

◇安全・安心の確保

道路雪害対策検討委員会を立ち上げ、この冬の大雪を踏まえた除排雪体制の見直しについて検討を進めており、8月をめどに取りまとめていく。また、3月に市庁舎内で発生した傷害事件を受けて設置した検討委員会により、具体的な安全対策がまとまったので、防犯カメラ設置等のセキュリティ対策を強化し、市民や市職員の安全を確保していく。



本会議の 発言から

6月19日（火）、20日（水）、21日（木）にかけて、18人の議員が質疑や一般質問を行いました。

6月19日（火）

- ・高村 佳伸 議員（自民党） P. 3
- ・森 一敏 議員（みらい） P. 4
- ・小林 誠 議員（金沢保守） P. 4
- ・秋島 太 議員（公明党） P. 5
- ・広田 美代 議員（日本共産党） P. 5

6月20日（水）

- ・松村 理治 議員（自民党） P. 6
- ・松井 隆 議員（みらい） P. 6
- ・上田 雅大 議員（自民党） P. 7
- ・小間井 大祐 議員（自民党） P. 7
- ・森尾 嘉昭 議員（日本共産党） P. 8
- ・玉野 道 議員（創生かなざわ） P. 8
- ・高岩 勝人 議員（自民党） P. 9

6月21日（木）

- ・喜多 浩一 議員（自民党） P. 9
- ・山本 由起子 議員（みらい） P.10
- ・大桑 初枝 議員（日本共産党） P.10
- ・坂本 泰広 議員（自民党） P.11
- ・熊野 盛夫 議員（創生かなざわ） P.11
- ・下沢 広伸 議員（自民党） P.12

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
高村 佳伸 議員

金沢美術工芸大学の移転整備について

問

移転整備の方針の一つである地域に開かれた文化芸術の交流拠点となるよう、大学の移転により新たなにぎわいが創出され、多くの市民との交流の場ができることを期待している。移転に当たっては、地域に親しまれ、地域に開かれた大学となっていきたいが、市長の考えを聞く。

答

体育館を市民がさまざまな用途で利用できる汎用性の高い多目的ホールとして整備するとともに、市民も気軽に利用できる美術館やパブリックスペースを設けることとした移転整備基本計画に沿って、地域に開かれた文化芸術の交流拠点を目指していきたい。（市長）

新しい交通システムの導入について

問

日本銀行金沢支店が駅西地区に移転する方針を発表した。その跡地利用として、都心軸に都市機能を集約させたネットワーク型コンパクトシティを形成するための新交通システムのステーション機能を兼ね備えた複合施設を整備すれば、さらなるまちなかのにぎわい創出につながると考えるが、市長の見解を聞く。

答

日本銀行金沢支店の移転には、まだ時間を要すると聞いている。まちづくり協定等を踏まえた上で、中心市街地のにぎわい創出の観点から、今後、市としてどのような関与ができるのか、引き続き日本銀行や地元関係者の動向に深い関心を寄せていくとともに、議員からの提案についても、今後の課題としたい。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 市長の政治姿勢と市政を担う決意について
- 2 新産業創出ビジョンの策定と働き方改革について
- 3 金沢美術工芸大学の移転整備について
- 4 新しい交通システムの導入について



みらい金沢
森 一敏 議員

庁舎内傷害事件からの教訓と対応について

問 事件の発生について、警察の捜査とは別に、市民への行政対応の観点から独自に検証すべきと求めてきたが、行政として事件が起きた理由について、どのような検証を行ったのか。

答 市民の皆さんへ丁寧な対応をすることによって、可能な限り良質な行政サービスを提供しなければならないと、私自身も含め、改めて職員間で共有しているところである。（市長）

宿泊税について

問 市内の宿泊者の実態として、観光宿泊客よりビジネス宿泊客の割合が高いと聞く。宿泊税の目的である「市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため」に照らすと、観光目的以外の宿泊者にも税を課するという制度上の不整合が生じるのではないか。

答 金沢のいろいろな文化的魅力を堪能することも大きな魅力となってビジネス客にも来てもらっていると思っている。宿泊税の導入に反対の要望書を出した宿泊施設のほとんどが観光や教育旅行を目的とした施設なので、議員の指摘は当たらないと思うが、意見があったことを重く受けとめ、関係者と意見交換しながら、宿泊税の導入を理解してもらえる施策に取り組んでいかなければならないと思っている。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 庁舎内傷害事件からの教訓と対応について
- 2 宿泊税について
- 3 市民のつづやきから
会計年度任用職員制度への移行に関して



金沢保守議員会
小林 誠 議員

学校及び放課後児童クラブのトイレについて

問 和式トイレの使用経験が少ない児童が多く、また、学校が災害時の避難場所に指定されているなどの理由から、これまでもトイレの洋式化について質問してきたが、現在の洋式化率を聞く。

答 平成30年4月現在の洋式化率は約35%であり、平成28年から約5.4%上昇している。今後は学校施設長寿命化計画に基づき、全国平均を上回るよう計画的にトイレの洋式化を進めたい。（教育長）



学校の和式トイレ

学校歯科検診について

問 金沢市歯と口の健康づくり推進条例が制定され、定期的に口腔状態を確認する学校歯科検診が担う役割が大きくなっている。検診用器具の消毒方法など学校間の格差の是正が必要と考えるが、教育長の所見を聞く。

答 検診用器具の消毒方法は煮沸や滅菌器など各学校で異なっている。今後は、学校歯科医の助言を受け、より適切な対応ができるように検討したい。（教育長）



小学校での歯科検診

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 リーダーのあるべき姿について
市長選出馬に向けた決意について など
- 2 公共施設とまちづくりについて
土地の有効活用と公共交通について など
- 3 教育施設における機器と設備の充実について
学校及び放課後児童クラブのトイレについて など
- 4 スポーツ文化の推進と安全対策について
マラソンの普及と安全対策について など
- 5 歯と口の健康づくりについて
学校歯科検診について など



公明党金沢市議員会
秋島 太 議員

食品ロス削減について

問 食品ロスは、国の推計によると、世界全体の食料援助量年間約 320 万トンの 2 倍となる年間 646 万トンに上るといわれている。京都市では、ピーク時 82 万トンを半減させる目標を平成 22 年に立て、平成 26 年には 42 万トンにまで減少させたが、本市の食品ロスの現状と削減目標の考え方について、市長の所見を聞く。

答 平成 25 年度に実施したごみ組成調査では食品ロスの発生量までは把握できていないため、今年度、ごみ組成調査を実施し、調査分析を進めている。この調査結果やフードドライブ受付窓口での検証を踏まえ、次期ごみ処理基本計画の中で食品ロス削減目標を設定したい。
(市長)

食品ロス削減に向けたフードドライブの現状について

問 家庭の食品ロスを減らし、ごみ減量化を図るため、ことし 5 月から定期的なフードドライブを開始したが、その現状について伺う。

答 1 カ月間に 110 人が利用し、1,000 点近くの食品を受け付け、その食品は障害福祉サービス事業所などの福祉施設で有効に活用している。
(環境局長)



フードドライブ受付窓口のモデル開設のチラシ

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 人口減少対策について
- 3 金沢版働き方改革について
- 4 食品ロス削減について



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員

市民生活の実態と暮らしを守る施策について

問 7 月から実施の要援護者ごみ出しサポート事業は、共助が受けられないかを調査することだが、本人や家族がちゅうちょなく申請できるよう、申請や打ち合わせは市が直接行い、民生委員などの負担をふやすべきではないだろうか。

答 要介護 1 以上など特定の要件を満たし、近隣住民等の協力を得ることができない、ごみ出しが困難な世帯であるかなどの認定作業を伴うため、地域の実情に詳しい民生委員などの協力が不可欠だが、過度な負担とならないよう十分配慮する。
(市長)

学校の統廃合とまちづくりについて

問 新豎町小と菊川町小の統廃合について、計画案が突然変わり、新豎町小のグラウンドに仮設校舎を建てる案が住民に示されてから、わずか一、二カ月で議会に提案された。これまでわが党は両校の耐震化を求めてきたのに対し、統廃合優先で進めたのは教育委員会であり、そのついで子どもや保護者に苦渋の選択をさせ、教育環境にも影響が出ることにについて、どう考えているか。

答 今回の統廃合は、平成 28 年の通学区域審議会から教育環境の充実のため統合の方針が示されたことを受け、地域等との協議を重ねてきて、両校下から同意があったものである。仮校舎として新豎町小の校舎を一部利用し、不足する教室等を暫定的に整備するものであり、可能な限り、運動場の面積は確保したい。
(教育長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 米朝首脳会談について
- 2 「働き方改革」について
- 3 市民生活の実態と暮らしを守る施策について
- 4 宿泊税について
- 5 学校の統廃合とまちづくりについて



自由民主党金沢市議員会
松村 理治 議員

家庭ごみの現状と今後の取り組みについて

問 指定ごみ袋による家庭ごみの収集制度を定着化し、ごみの減量化と資源化を進めるために現状を把握すべきだが、制度開始からこれまでに家庭ごみはどの程度減少し、資源回収はどのようになっているのか。

答 ことし2月から5月までの家庭ごみ排出量の速報値は、燃やすごみが前年同期比19.0%減、埋め立てごみが20.2%減である一方、容器包装プラスチック等の回収量が前年同期比30%を超える増加率となっている。家庭における分別意識の向上により、ごみの減量化、資源化への取り組みが広がっていると考えており、改めて市民の民度の高さを感じている。(市長)

加賀藩発祥300年記念事業について

問 1718年に加賀藩が火消し組を組織したことに始まった加賀藩だが、本年は発祥300年を迎える節目の年となることから、記念事業を実施すると聞いている。そこで、はしご登りに対する思いや300年記念事業に対する意気込みを聞く。

答 威勢、気迫、心意気を信条とする加賀藩はしご登りは、本市の文化的価値を高めてきた大切な宝物の一つであり、保存会に深く敬意を表する。記念事業を契機に、後継者の育成と技能の保持に力を注ぐとともに、加賀藩はしご登りの名が世界に向けて発信されるよう取り組んでいきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢マラソンについて
- 2 中央卸売市場の再整備のあり方について
- 3 新工業用地について
- 4 家庭ごみの現状と今後の取り組みについて
- 5 教育について
- 6 防災情報システムについて
- 7 加賀藩発祥300年記念事業について



みらい金沢
松井 隆 議員

除雪経費の助成について

問 今回の大雪では、町会の除雪費用負担が大きくなったが、他市では地元町会等の団体が自主的に行う除雪協力に対する助成制度がある。本市でも除雪費用の一部を助成できないのか。

答 平成30年度から、小型除雪機の購入や消雪装置設置に対する助成制度を拡充したところであり、既に例年を超える申し込みを受けている。町会によっては除雪積み立てを実施しているところもあるため、一律の助成は難しいが、住民対応にも限界があることは事実であり、さらなる支援や工夫ができないか検討委員会で議論を重ねていきたい。(市長)

保育所への110番通報装置の設置について

問 この3月の庁舎内傷害事件を受けて、金沢市行政対象暴力対策検討委員会からは110番通報装置の配備数をふやすよう提言されており、緊急事態をいち早く外部に知らせることが重要であるとうかがえる。そこで市立保育所へも同様の装置が配備できないのか。

答 110番通報装置については平成30年度、本庁舎のほか、窓口業務を主とする市民センターなど17箇所の出先機関へ配備する。保育所や学校などの公共施設については、今回実施する具体的な強化策の効果を見きわめた上で110番通報装置の設置も含めて検討していく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 災害に強いまちづくりについて
耐震診断義務化建築物について など
- 2 道路除雪計画の見直しについて
除雪経費の助成について など
- 3 庁舎管理体制のあり方について
保育所への110番通報装置の設置について など
- 4 金沢町家数の減少について
金沢町家情報バンクへの登録について など



自由民主党金沢市議員会
上田 雅大 議員

ふるさと納税について

問 本市の魅力発信につながるよう期間限定商品としてタケノコや五郎島金時などの加賀野菜、加能ガニや甘エビなどの海産物のほか、金沢マラソン出場権などをふるさと納税の返礼品に加えてはどうか。

答 庁内プロジェクトを立ち上げ、新たに本市の食文化やスポーツ文化などの魅力を発信するとともに、文化の振興にもつながる制度の拡充について検討していく。 (市長)

フレイル対策について

問 市民のさらなる健康寿命延伸のため、前期高齢者からフレイル^(※) 予防対策を講じるべきだと考える。今後、介護予防・日常生活支援総合事業の中でフレイル予防事業を着実に実施する体制を確保すべきだが、本市はフレイルをどのように捉え、今後どのように取り組んでいくのか。

(※) フレイルとは、年齢とともに心身の活力(筋力や認知機能など)が低下して要介護状態に近づくこと。

答 フレイルは、適度な運動や適切な食事により予防できることから、フレイルの兆候があるかどうかを早期にチェックし、自覚してもらうことが重要だと考える。9月から東京大学高齢社会総合研究機構の協力を得てフレイル予防事業を開始し、広く周知啓発を進めるとともに、地域で健康づくりに取り組むボランティアをフレイルサポーターとして養成していく。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 無電柱化について
- 2 ふるさと納税について
- 3 フレイル対策について
- 4 ロケ地の誘致について
- 5 古紙の資源化について
- 6 広報戦略について



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員

田上小学校の児童数増加、教育現場の課題と対策

問 3年前の本会議で指摘した田上小学校の児童数増加に伴う教育環境の悪化については、その後、学校規模適正化を行うとしていながら、根本的な課題解決に向かっていない。方向性の早急な結論付けと予算付けを行うために地元との協議を進めるよう、期限も含め市長の意向を聞く。

答 今後の児童数見込みを踏まえ、通学区域の見直しや学校の新設または移設のあり方等について検討を進めている。特に通学区域の見直しは、校下や地域活動に大きな影響を与えることから慎重にしていかなければいけないが、年度内をめどに一定の方向性を示したい。 (市長)

ホンダ・エスティーロと金沢大学と本市との三者協定

問 星稜高校出身でサッカー日本代表の本田圭佑選手が実質経営するホンダ・エスティーロと金沢大学と本市の連携により角間キャンパス内にグラウンド施設がオープンし、関係者からサッカー以外に運動会やグラウンドゴルフなどさまざまなシーンで市民に活用してほしいとの話が出ていた。産学官連携事業でできた本市の限りある施設であり、市の公認施設として有効活用するために支援すべきでないか。

答 できる限り多くの人に利用してもらいたいと考えており、本市も直接かかわっていることから、施設のPRに協力するとともに、どんな形で市民に活用してもらい、市がかかわっていけるのか関係者と相談しながら検討したい。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 子どもたちの教育環境整備と地域コミュニティ
学校規模の適正化に伴う小学校区の再編/校区再編と地域コミュニティ/田上小学校の児童数増加、教育現場の課題と対策/市政における教育の優先順位
- 2 スポーツによるまちづくりについて
スポーツを通じたまちの活力創出と市民の健康促進/ホンダ・エスティーロと金沢大学と本市との三者協定/金沢マラソンを支えるボランティアと長期ビジョン



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員

金沢市町会連合会における使途不明金と本市の対応について

問 町会連合会によると7年間にわたり総額1,278万円が不正に支出され、女性事務員が着服を認めたとのことだが、市長はどのように受けとめたのか。また、町会連合会に市民の税金が毎年、約2000万円支出されてきたことから、市として全容を解明する責任があるのではないか。

答 本市と常にパートナーシップを持って活動してきた町会連合会でこのようなことが起こり大変残念に思っている。町会連合会が全容解明に鋭意取り組んでいるところなので、町会連合会に対して助言や指導を行っていく。(市長)

子ども医療費助成制度の拡充を

問 子ども医療費助成制度の対象について、本市では中学校卒業までだが、石川中央都市圏では18歳までの自治体もあるので、対象年齢の拡大と医療機関窓口での自己負担をなくすよう制度の拡充を求めるが、市長の見解を聞く。



答 本市では平成26年10月に対象を中学生までに拡大し、平成27年7月に現物給付化を開始しており、体制が整っていると考えている。現時点で対象年齢の拡大は考えていない。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 金沢市町会連合会における使途不明金と本市の対応について
- 2 子どもの虐待への対応と子ども医療費助成制度の拡充について



創生かなざわ
玉野 道 議員

将来の市場の役割について

問 食を安定供給する社会インフラや食文化の拠点としての役割を担う本市の卸売市場の公共的使命は大きいと考えるが、現在地での卸売市場の優位性を活用し、公的機能として新たに目指すべき取り組みと、将来にわたる卸売市場のあり方について聞く。

答 市場施設が開設から50年以上経過し、老朽化が進んでいることから、7月に有識者、消費者団体、市場関係者等で構成する検討会を立ち上げ、まちづくりの視点も取り入れて、卸売市場の今後のあり方を検討していきたい。(市長)

病院機能強化と新病院建設について

問 地域の産業と協働し、雇用と安心を提供するために、市立病院の経営戦略は地域振興にかかわるものであることから、病院経営等に精通した人材確保、並びに建てかえ時期を迎えている市立病院の機能充実と新病院建設までの対応について聞く。

答 今回の予算において、市立病院の今後のあり方を協議する検討会の設置費用を盛り込んだところであり、役割や市民から求められる機能を整理したうえで、提供すべき医療の内容や規模、人材確保の方法など、各分野の専門家から意見をもらいながら、中長期的な視点で検討を重ねていきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 公営企業経営に関して
事業の持続性と将来展望について など
- 2 「卸売市場法」並びに「食品流通構造改善促進法」の改正に関して
将来の市場の役割について など
- 3 市立病院に関して
病院機能強化と新病院建設について など



自由民主党金沢市議員会
高岩 勝人 議員

中央卸売市場再整備について

問 中央卸売市場は食の安全・安心の観点から時代に合った施設でなくてはならない。開設から50年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる市場の早急な再整備が必要と考えるが、市長の所見を聞く。

答 これまで必要性や緊急度を勘案しながら、計画的に改修や延命化を行ってきたが、市場に求められる役割を関係者と議論していくために、ことし7月に有識者や消費者団体、市場関係者等で構成する検討会を立ち上げて、まちづくりの視点を取り入れながら、検討していきたい。(市長)

伝統工芸の継続発展について

問 金沢21世紀美術館や中村記念美術館の所蔵作品は、藩政期に技法を学んだ百工比叢の現代版だと言える。そこで、これらの作品に触れ、勉強してもらうためにも、金沢美術工芸大学の学生や金沢卯辰山工芸工房の研修生に限り、本市の美術館等を無料開放してはどうか。

答 金沢美術工芸大学の新入生には、金沢21世紀美術館を初め、本市の美術館等に1年間無料で入館できる「学パス」を配付しているほか、金沢美術工芸大学の学生が、授業の一環として本市の美術館を観覧する場合には、観覧料金を免除している。金沢美術工芸大学の学生のみならず、金沢卯辰山工芸工房の研修生も、授業や研修のみといった制限なく、観覧料を無料にするという提案は、しっかりと受けとめていく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 米朝首脳会談を市長はどう見たのか
- 2 中央卸売市場再整備に関することについて
- 3 第4次産業革命に伴う先端技術と本市の対応について
- 4 伝統工芸の継続発展について
- 5 文化都市と観光施策の融合について

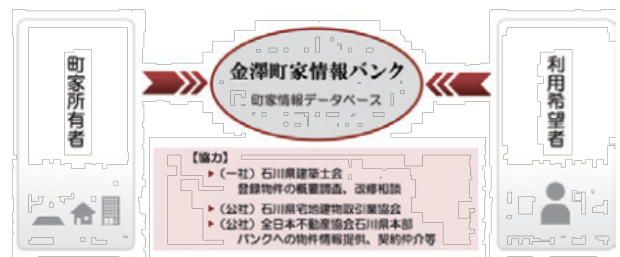


自由民主党金沢市議員会
喜多 浩一 議員

金澤町家の保全・活用における課題について

問 平成29年度の調査で判明した現存する6,125棟の金澤町家のうち、約1,000棟が空き家になっていることから、空き町家の活用を促進する方策を急いで講じるべきだと思えるが、市長の考えを聞く。

答 金澤町家情報バンクや金澤町家流通コンサルティング事業などで活用されていない金澤町家の流通促進を図るとともに、保全や活用を促すための改修補助を行っているが、今後も、空き町家の所有者に対して、これらの取り組みを広く周知したり、有効利用の具体例を示して利活用することに理解してもらえるよう努めたい。(市長)



金澤町家情報バンクのイメージ

持続可能な開発目標 (SDGs) について

問 SDGsについては、本市のブランド価値向上やイメージアップのために、ICTを活用して地域課題を解決するシビックテックへの取り組みと同じような意欲で取り組むべきと考えているが、今後の予定について聞く。

答 SDGsの17項目の目標の中には、世界の交流拠点都市を目指す本市の取り組みとかかわりが深いものや今後重要となってくる視点が多く含まれているので、金沢青年会議所や金沢工業大学を初めとした民間の方々からの意見も聞きながら、しっかりと検討していきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新たな都市間交流について
- 2 持続可能な開発目標 (SDGs) について
- 3 金澤町家の保全・活用における課題について



みらい金沢
山本 由起子 議員

児童虐待について

問 東京都目黒区での虐待死事件を受けて、自治体、児童相談所、警察の対応についての検証が求められている。中核市として先駆的に児童相談所を開設し12年が経過した本市として、児童相談所の今後の運営における課題をどのように考えているのか。

答 基礎自治体である市が児童相談所を持つ強みは学校や幼稚園、保育所との情報が密にとりやすいことだが、今後は医療機関や警察を含めた関係機関とのさらなる連携強化が求められる。特に警察との情報共有の徹底については、国からの通知を踏まえ、速やかに警察への情報提供基準を作成したい。
(市長)

消防職員採用における色覚要件について

問 市民団体の調査によると、全国の約4割の消防本部において消防職員の採用時に色覚検査を実施していないことが明らかになり、全国の自治体で検査廃止の動きが広がっているが、本市では色覚要件の必要性についてどのように考えているのか。また、廃止を検討する予定はないか。

答 消防職員の職務上、消火活動中の炎や煙の色による状況の判断、けが人の出血の状態や顔色の確認など、色の認識が重要な判断要素となる場合があると考えている。今後、国が消防職員採用時の色覚要件について一定の考え方を示す見通しであることから、その動向を注視していく。
(消防局長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 児童虐待について
- 2 自殺対策について
- 3 消防職員採用における色覚要件について
- 4 教育について



日本共産党金沢市議員団
大桑 初枝 議員

生活保護費の削減について

問 生活保護費は、平成30年10月から3年間にわたって引き下げられ、最大で5%の削減となっている。生活保護利用世帯では大変深刻な生活実態があるが、引き下げが行われた場合に生活に支障が出ないように、本市独自の支援策を行う考えはないか。

答 生活保護基準の改定は、一般国民の消費実態との均衡を図るため、国において専門的、科学的見地から検証し見直されるものであり、引下げ額を補填するための本市独自の施策は考えていない。
(市長)

金沢市の農業支援について

問 国が減反政策を廃止する一方で、米の直接支払い交付金も撤廃したことにより、米農家は大打撃を受けている。農家が安心して農業を続けるためには、安定した米生産への支援が重要であり、国に何らかの対応を求めるべきではないか。

答 平成30年度から、国は米の直接支払い交付金を廃止する一方、飼料用米や麦などの作付に対する助成を継続している。本市では米農家の所得を確保するため、金沢産米の品質向上、大規模化によるコスト削減、PR活動による消費拡大などを推進するとともに、国の交付金を活用し、加賀野菜を初めとする高収益園芸作物への転換などに支援を行っている。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 生活保護費の削減について
- 2 金沢市の農業支援について
- 3 家庭ごみ有料化について



自由民主党金沢市議員会
坂本 泰広 議員

歴史観光について

問 豪姫・宇喜多秀家と前田家とのかかわりなど、史実に基づいた観光の仕掛けをもっと取り入れるべきだと思うが、市長の所見を聞く。

答 昨年度、史実を生かした取り組みとして、高山右近と加賀藩前田家の足跡をめぐるモニターツアーを実施し、人気を博した。導入には



大蓮寺での豪姫慰霊祭

史実の検証やストーリー性が重要であることから、豪姫など歴史上の人物を観光素材としていかに組み込んでいくか、しっかり研究していく。(市長)

地域活動などへの市職員の積極的参加について

問 神戸市では地域貢献応援制度を導入し、職員が地域の課題解決に向け積極的に取り組んでいけるように、報酬を得て地域貢献に従事できることを明確化している。市民協働の先進地である本市でも導入してはどうか。

答 職員には折に触れて地域貢献活動に積極的にかかわってほしいと述べている。既に消防団員等で正規の手続を踏み、有償の地域貢献活動に参加している職員もいる。さまざまな制度等について職員へ周知を図り、職員の判断に任せていきたい。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 歴史観光について
- 2 地域活動などへの市職員の積極的参加について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員

安原小学校の校舎等の教育環境について

問 ことしで創立 35 年となる安原小学校は、この冬の雪解け水の影響で雨漏りがひどかったが、安原地区において海側環状道路の海側に位置する唯一の 3 階建ての避難場所であり、危機管理の観点からも早急な対策が求められることから、体育館の建てかえを検討してはどうか。

答 小中学校の施設については、学校からの要望等に基づき、必要に応じ、緊急点検や修繕等を実施してきたところだが、今後も迅速かつ適切に対処していく。体育館の改築については、現時点で考えていない。(教育長)

市営住宅の雪害対策について

問 市営住宅入居者の高齢化率 34.4 % は、市全体の高齢化率 26.0 % と比較し非常に高いことから、地域活動の機動性が低くなり、困難さが増している。市ではこの冬の雪害対応の総括と今後の対策を検討しているが、駐車場管理組合や町会など、市営住宅ごとに除雪の中心を担った人たちが情報共有する場を、市営住宅課の主導で設けてはどうか。

答 情報共有する場については、各団地の規模や組織が異なっているため、今のところ設置は難しいと思っている。除雪活動に関するよい事例や有効な手法については、市営住宅の皆さんへの周知に努めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 安原小学校の校舎等の教育環境について
- 2 市営住宅の雪害対策について
- 3 架空請求はがきの被害防止策について
- 4 金沢市消防独自開発救急搬送 11 力国語アプリについて
- 5 保育政策について



自由民主党金沢市議員
下沢 広伸 議員

新たな観光資源、ビーチ体験型観光の考えについて

問 観光庁は訪日外国人客向けの観光資源として、地域の文化や自然を楽しめる体験型観光を充実させるために、ビーチの活用に着目して、モデル事業を実施しているが、本市も新たな観光資源として海岸・ビーチを活用した取り組みを行う考えはないか。

答 昨年から本市と内灘町、北陸鉄道が連携し、鉄道とバス・レンタサイクルをセットにした浅野川線まち歩きクーポンを企画販売し、内灘海岸への送客に努めている。今後、新たに内灘町と連携し、インバウンドの観点からビーチの魅力発信やグルメを含めた旅プランの造成について研究していく。
(市長)

第3次環境基本計画におけるごみ資源化について

問 指定ごみ袋による家庭ごみの収集制度の導入後、市民の協力のもと、特に紙類の回収など多くのものが資源化されている。ストアーくる・ステーションでは、回収量が多くなり、対応に負担がかかっていると聞が、スーパーなど協力企業へどのような支援をしていくのか。

答 資源回収量が大幅に増加していることから、定期収集の頻度をふやしたり、必要に応じ市職員が直接出向き、分別指導の実施を行うなどの支援策に取り組んでいる。引き続き協力をお願いしたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新たな観光資源、ビーチ体験型観光の考えについて
- 2 駅西福祉健康センターについて
- 3 動物愛護管理センターについて
- 4 まちなかにぎわい創出について
- 5 第3次環境基本計画について
- 6 高速道路を利用した観光プロモーションの取り組み

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案等の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

	開催日	主な報告事項等
総務	5月2日	行政査察の実施について
	5月23日	金沢市行政対象暴力対策検討委員会について
	6月22日	金沢・建築文化会議－建築とまちづくりを考えるフォーラムの開催について
経済環境	4月16日	要援護者ごみ出しサポート事業の実施について
	5月21日	フードドライブ受付窓口の開設について
	6月22日	「金沢市働き方改革チャレンジ宣言企業」の募集等について
市民福祉	5月7日	旧観音町地区における旧町名復活に向けた動きについて
	5月28日	地域の身近な福祉相談窓口の開設について
	6月22日	いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業の実施について
建設企業	4月16日	金沢市道路雪害対策検討委員会の設置について
	5月21日	プロモーションムービー「浅野川夜」の完成について
	6月22日	まちづくり協定の締結について
文教消防	5月8日	金沢市俵芸術交流スタジオの開館について
	5月30日	木造建築物密集地域におけるまちぐるみの初期消火訓練の実施について
	6月22日	学校におけるブロック塀等の安全点検等の実施について

各常任委員会では、議会活動の一層の充実を図るとともに、本市のまちづくりに役立てることを目的に、他都市等への行政視察を行っています。今年度は、以下のとおり行われました。

総務常任委員会 7月3日（火）～5日（木）

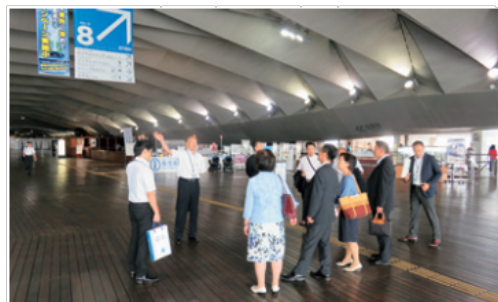
- 独立行政法人・東京国立近代美術館工芸館について
国立美術館
- 水戸市 ・みと財政安心ビジョンについて
- 川越市 ・まちなかの交通政策について



東京国立近代美術館工芸館

経済環境常任委員会 7月11日（水）～13日（金）

- 盛岡市 ・もりおか食と農バリューアップ推進事業について
- 横浜市 ・横浜港の官民連携による国際クルーズ拠点形成計画について
- 高崎市 ・高崎まちなかオープンカフェ（高カフェ）について



横浜市

市民福祉常任委員会 7月3日（火）～5日（木）

- 厚生労働省 ・地域共生社会の実現に向けて
・子どもの貧困対策について
- 仙台市 ・子どもの貧困対策について
- 一関市 ・協働のまちづくりについて



仙台市

建設企業常任委員会 7月2日（月）～4日（水）

- 札幌市 ・さっぽろの雪対策について
- 東京都 ・市街化調整区域における空き家等の活用
のための開発審査基準の改正について



札幌市

文教消防常任委員会 7月23日（月）～25日（水）

- 郡山市 ・音楽都市推進事業について
- 気仙沼市 ・防災減災対策について
- 仙台市 ・仙台子ども体験プラザについて



仙台市

特別委員会の活動状況

金沢市議会では特定のテーマを調査するため、平成30年度は3つの特別委員会を設けています。各委員会に付託された調査事項について、執行部からの説明や参考人からの意見聴取、他都市等への視察等による調査を行っていきます。

委員会名	調査テーマ
文化学術振興特別委員会	・地域に開かれた文化芸術の交流拠点としての金沢美術工芸大学のあり方について
連携中枢都市圏・都市交通特別委員会	・連携中枢都市圏における交通ネットワークと本市交通ネットワークのあり方について
防災・安全対策特別委員会	・雪害に対する市民意識の醸成について ・公共施設及び大規模イベント時の防災・安全対策について



金沢美術工芸大学の視察
(文化学術振興特別委員会)

平成30年度 6月定例月議会 審議結果

■全会一致の議案 ※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

議案番号	件名	本会議の結果
------	----	--------

◇市長提出（議案23件中16件、報告1件、諮問1件）

議案第2号	平成30年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第3号	平成30年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第4号	町の名称の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	可決
議案第5号	金沢市職員退職手当支給条例の一部改正について	可決
議案第9号	金沢市障害児通園施設条例の一部改正について	可決
議案第11号	金沢市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第12号	金沢市地区計画等の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	可決
議案第13号	金沢市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第14号	工事請負契約の締結について（次期廃棄物埋立場浸出水調整槽築造工事）	可決
議案第16号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（次期廃棄物埋立場埋立地整備工事）	可決
議案第17号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（次期廃棄物埋立場外周道路周辺造成工事（西工区））	可決
議案第18号	財産の処分について	可決
議案第19号	町の名称の変更について（金石通町ほか）	可決
議案第20号	市道の路線認定について	可決
議案第21号	市道の路線変更について	可決
議案第23号	金沢市監査委員の選任につき同意を求めるについて 福田太郎氏 安達 前氏	同意
報告第1号	専決処分の報告について（特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について）	承認
諮問第1号	人権擁護委員候補者推薦に関し答申を求めるについて 西村依子氏 福島恵子氏 前田義春氏	諮問のとおり 答申

◇議員提出（議案6件中1件）

議会議案第6号	旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書	可決
---------	----------------------------	----

■賛否などの態度が分かれた議案等（議員別賛否一覧）

※○：賛成、×：反対、退：退席、欠：欠席、議長は採決に加わらないため、「／」と表示しています。

※会派等の名称：金沢保守（金沢保守議員会）、公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、創生（創生かなざわ）、み（会派みやび）

議 番	案 号	件	名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会														みらい金沢		金沢保守		公明党		日本共産党		創生	み								
					上田 雅大	中川 俊一	小間井大祐	坂本 泰広	高 誠	喜多 浩一	下沢 栄進	下沢 広伸	高岩 勝人	野本 正人	久保 洋子	松村 理治	清水 邦彦	黒沢 和規	福田 太郎	横越 徹	田中 展郎	高村 佳伸	松井 隆	麦田 徹	山本由起子	森 一敏	中西 利雄	前 誠一	小林 誠	澤飯 英樹	安達 前	源野 和清	秋島 太	角野恵美子	松井 純二	大桑 初枝

◇市長提出（議案23件中7件）

議案第1号	平成30年度金沢市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	金沢市税賦課徴収条例等の一部改正について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	金沢市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	金沢市児童福祉法に基づく家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	金沢市介護保険法に基づく指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	工事請負契約の締結について（旧金沢市営総合プール解体工事）	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成30年度金沢市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇議員提出（議案6件中5件）

議会議案第1号	国民健康保険料及び医療費における子育て世帯の経済的な負担の軽減を求める意見書	否決	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会議案第2号	国民の命と安全を最優先にしたエネルギー政策の確立を求める意見書	否決	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会議案第3号	米朝首脳会談と共同声明を受け、朝鮮半島の非核化の実現と拉致問題の解決に向けての意見書	否決	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会議案第4号	家庭教育支援法の制定を求める意見書	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議会議案第5号	国公立大学の入学式及び卒業式における国旗の掲揚及び国歌の斉唱を求める意見書	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

◇請願（1件）

請願第29号	核兵器禁止条約に関する請願	不採択	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
--------	---------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

意見交換会について

金沢市議会では、議会活動の内容を報告するとともに、市民の皆様からお聞きした意見を市政に反映していくことを目的に、平成26年より意見交換会を開催しています。

○開催結果

日時：平成30年6月6日（水）午後7時～
会場：玉川こども図書館

50名の方にご参加いただきました。定例月議会とテーマである「民泊・宿泊税」について報告を行った後、5常任委員会の委員と専門家等がパネルディスカッション形式で意見交換を行いました。その中で、簡易宿所経営者の生の声や宿泊税の用途についてなどさまざまな観点から広範囲な意見が寄せられるとともに、一般の参加者からも貴重な意見をいただきました。



お忙しい中、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。なお、意見交換会の詳しい内容は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

○次回の意見交換会について

日時：平成30年8月21日（火）午後7時～
会場：元町福祉健康センター

内容：

- ・6月定例月議会の報告
- ・働き方改革についての意見交換

申込：不要（駐車場あり）



議会日誌

4月

- 10日 議会広報委員会
16日 経済環境常任委員会、建設企業常任委員会

5月

- 2日 総務常任委員会
7日 議会広報委員会、市民福祉常任委員会
8日 文教消防常任委員会
10日 文化学術振興特別委員会、防災・安全対策特別委員会
11日 議会運営委員会
21日 経済環境常任委員会、建設企業常任委員会
22日 連携中枢都市圏・都市交通特別委員会
23日 総務常任委員会
28日 市民福祉常任委員会
30日 文教消防常任委員会
31日 文化学術振興特別委員会

6月

- 1日 連携中枢都市圏・都市交通特別委員会
4日 議会運営委員会
11日 平成30年度定例金沢市議会開会
金沢市議会6月定例月議会初日
本会議（議案上程・提案理由説明）、
総務常任委員会、議会広報委員会
13日 議会運営委員会
18日 議会運営委員会
19日 本会議（質疑・一般質問）
20日 本会議（質疑・一般質問）、
防災・安全対策特別委員会
21日 本会議（質疑・一般質問）
22日 各常任委員会、議会運営委員会
25日 本会議（討論・採決）、
議会運営委員会
金沢市議会6月定例月議会最終日

9月定例月議会の日程（予定）

9月3日（月）	本会議（提案理由説明）
11日（火）	本会議（質疑・一般質問）
12日（水）	本会議（質疑・一般質問）
13日（木）	本会議（質疑・一般質問）
14日（金）	委員会審査
18日（火）	本会議（討論・採決）

※日程は変更することがあります。

〔編集〕議会広報委員会

〔委員長〕野本 正人 〔副委員長〕上田 雅大
〔委員〕広田 美代 源野 和清 麦田 徹
 澤飯 英樹